

没後30年企画

飯島 正、ある活動狂の面影



映画はぼくと一緒に成長した。

会期／2026.

3.24(火)・5.17(日)

開室時間／10:00～18:00 日曜10:00～17:00

※5/3(日)～5/6(水)は閉室 ※3/28(土), 4/4(土), 5/2(土)は10:00～17:00

入場無料

※使用した飯島正肖像は古川治氏撮影

図書館入館資格のない方でもご覧いただけます。
会場／早稲田大学総合学術情報センター2階展示室
主催／早稲田大学図書館

映画に
芸術に目
ざめたぼ
くと
映画



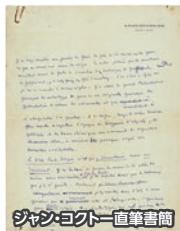
著作
『ヌーヴェル・ヴァーグの映画体系』

没後30年企画 飯島 正、ある活動狂の面影

映画に目ざめたぼくと芸術に目ざめた映画

「早稲田」と「映画」の文字が並ぶとき、みなさんはいったい誰を思い浮かべるのでしょうか。おそらく枚挙に暇がないほど、多くの高名な人物があがることは想像に難くありません。古くは坪内逍遙の時代より、多くの演劇人・映画人・放送人を輩出してきた早稲田大学において、かつて「映画科」創設の礎を築いたため、大学から熱烈な招聘を受けた人物がいました。日本における映画批評の先駆者であり確立者、飯島正（1902–1996）、その人です。早稲田大学図書館には、定年まで本学で教鞭を執った氏が世界各国から集めた、貴重な蔵書のコレクションが存在します（飯島文庫＝文庫26）。2026年春、彼の没後30年の節目に、未公開分を含めた貴重な資料群をご紹介いたします。

映画はぼくと一緒に成人した。



会期／2026.3.24(火)～5.17(日)

開室時間／10:00～18:00 日曜10:00～17:00

※5/3(日)～5/6(水)は閉室 ※3/28(土)、4/4(土)、5/2(土)は10:00～17:00

会場／早稲田大学総合学術情報センター2階展示室

主催／早稲田大学図書館

入場無料

図書館入館資格のない方でも
ご覧いただけます。